

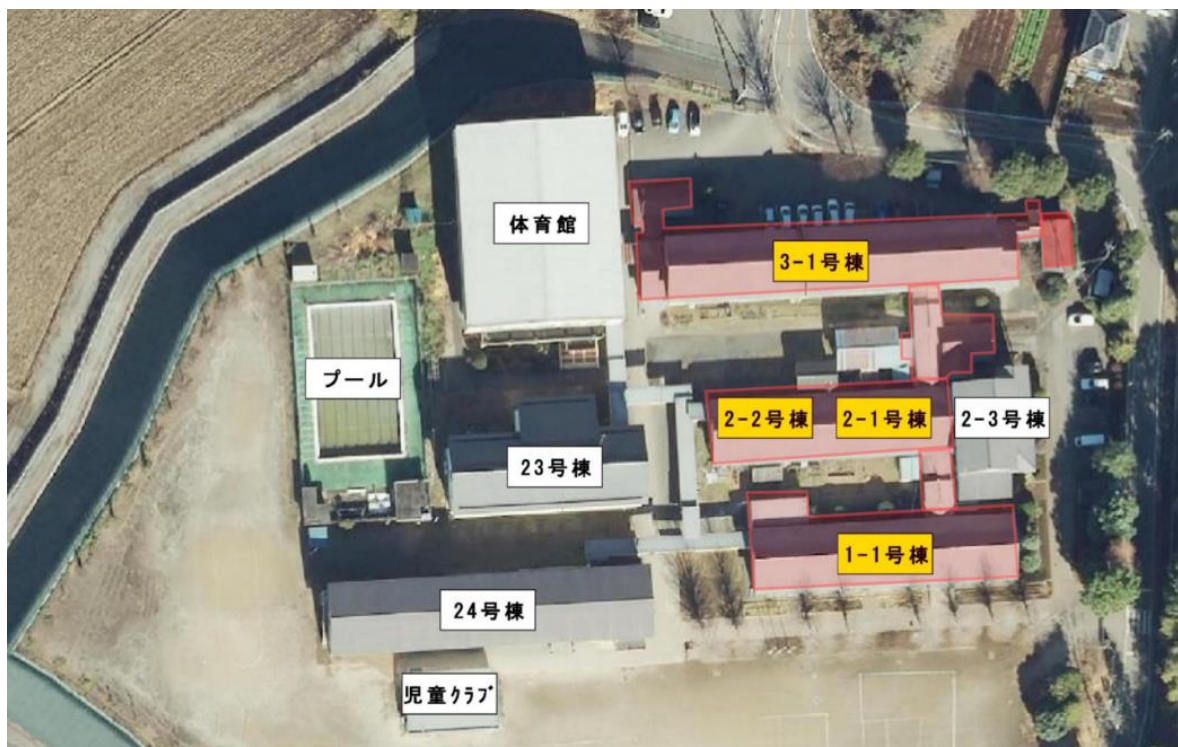
事業計画概要書

1 業務名

絹西小学校改築基本・実施設計等業務委託

2 絹西小学校施設一覧及び配置図

建物名	既存用途	構造	面積(m ²)		新校舎 整備後	整備後用途
1-1号棟	普通教室 等	W	400		解体	既存校舎機能を 改築校舎に盛り 込みます
2-1号棟	校長室 等	W	133			
2-2号棟	特別支援教室 保健室 等	W	244			
3-1号棟	普通教室 児童クラブ 等	W	985			
2-3号棟	職員室 等	W	294			
23号棟	特別教室 等	R	717		存置	児童クラブへ改 修（別途）
24号棟	普通教室 等	S	1,076		存置	特別教室 等
プール	プール	—	819		解体	敷地内のプール は廃止にします
体育館	体育館	S	777		存置	普通教室 等
						敷地内のプール は廃止にします
					存置	体育館



3 業務の目的・背景

絹西小学校の1-1号棟、2-1号棟、2-2号棟、及び3-1号棟（以下「木造校舎」という）は現在築70年近くとなり、各所で老朽化に伴う劣化が進行し、さらにトイレや断熱についても、現代の仕様に合わないものになりつつあります。

そのような状況のなか、今般、絹西小学校の木造校舎に係る老朽化調査を実施したところ、建替えが可能な要件を満たすことが明らかになりました。

本業務は、絹西小学校の木造校舎の改築工事を行うための基本・実施設計、外構、必要となる既存校舎解体、及びプール解体に係る実施設計業務を行うものです。

4 業務の内容

絹西小学校に係る以下の設計業務とします。

- ・校舎改築基本・実施設計業務
- ・付属外構実施設計業務
- ・既存校舎解体実施設計業務^(注1)
- ・仮設校舎・機能移転設計業務^(注2)
- ・プール解体実施設計業務

委託業者の選定方法については、配置、建物の構成、コスト縮減等に関し、合理的な設計提案を求める観点から、公募型プロポーザル方式を採用します。

（注1）：本設計内容による校舎改築を行うにあたり、施工位置が干渉するなど直接的に既存校舎の解体工事が必要な場合

（注2）：本設計内容による校舎改築を行うにあたり、仮設校舎の設置を要する場合

5 施設整備の方向性

絹西小学校改築に係る設計の方向性については、以下のとおりです。

- （1）学習環境を充実させる校舎づくり
 - ・普通教室と一体利用可能な学年ごとのオープンスペース
 - ・将来的な学年クラス数変更に対応可能なフレキシビリティ
 - ・学習内容によっては授業に集中できる普通教室
 - ・その他、多様な学習活動を実現する施設環境
- （2）毎日行きたくなるような校舎づくり
 - ・旧校舎を想起させる外観意匠と、内装の木質化利用
 - ・豊かな共有空間の創出
- （3）敷地利用計画の有効性
 - ・既設/継続利用校舎との連携・調和
 - ・敷地全体利用計画の整合性
 - ・適切なゾーニングと使いやすい校舎配置

(4) イニシャルコストの縮減

- ・施設整備にかかる建設コスト抑制
- ・容易な工事施工性, 工種・材質の単純化
- ・実用性, 機能優先かつ床面積の圧縮縮減

(5) 長寿命化・ランニングコストの縮減

- ・高耐久材料の利用, 高い対漏水対策
- ・維持管理の容易さ
- ・点検メンテナンス性

6 改築予定地

市では、絹西小学校の改築予定地は、以下（参考案）を検討しました。

基本設計策定時に全体配置計画を決定します。企画提案時に、それ以外のプランも含めご提案ください。

（１）仮設校舎を利用しない計画：プール解体跡地（案）



（２）仮設校舎を利用する計画：3-1号棟先行解体跡地（案）



7 改築スケジュール（予定）

令和7年度～令和9年度	・校舎改築基本・実施設計業務 ・付属外構実施設計業務 ・既存校舎解体実施設計業務^(注1) ・仮設校舎・機能移転設計業務^(注2) ・プール解体実施設計業務 （注1）：本設計内容による校舎改築を行うにあたり、施工位置が干渉するなど直接的に既存校舎の解体工事が必要な場合 （注2）：本設計内容による校舎改築を行うにあたり、仮設校舎の設置を要する場合 設計期間 16 カ月
令和9年度～令和10年度	工事実施 工期 18 カ月
令和11年4月	改築校舎供用開始

※ 令和10年度に本設計内容に含まないエリアの木造校舎解体・外構実施設計委託は別途発注予定

8 施設規模

(1) 改築校舎供用開始時の必要諸室全体数

室 名	必要室数	1室あたり面積	総面積	備 考
普通教室	10～12	70㎡	約 700～840㎡	想定児童数： 215人（R11）
特別支援教室	3～4	70㎡	約 210～280㎡	教室の中央をパーテーションで区切り、1室を2室とする運用も可
特別教室 内訳	計 11		約 685㎡	
	相談室 2	35㎡		
	通級指導教室 1	70㎡		
	家庭科室 1	115㎡		
	家庭科準備室 1	25㎡		
	図書室 1	85㎡		
	理科室 1	115㎡		
	理科準備室 1	25㎡		
	音楽室 1	85㎡		
	音楽準備室 1	25㎡		
	図工室 1	70㎡		
管理関係諸室 内訳	計 13		約 395㎡	想定教職員数： 25名
	放送室 1	35㎡		
	校長室 1	35㎡		
	保健室 1	55㎡		
	職員室 1	100㎡		
	教材室 5	25㎡		
	印刷室 1	10㎡		
	更衣室(職員) 2	10㎡		
	配膳室 1	15㎡		

合計 約 1,990～2,200㎡

(廊下、トイレ、共用スペースは含まれていない)

(下線部は23号棟及び24号棟の諸室)

(2) 23号棟及び24号棟の諸室数

室 名	必要室数	1 室あたり面積	面 積	備 考
普通教室	7	70m ²	490m ²	
特別支援教室	0	—	—	
特別教室 内訳	計 8		545m ²	
	家庭科室 1	115m ²		
	家庭科準備室 1	25m ²		
	図書室 1	85m ²		
	理科室 1	115m ²		
	理科準備室 1	25m ²		
	音楽室 1	85m ²		
	音楽準備室 1	25m ²		
	図工室 1	70m ²		
管理関係諸室 内訳	計 3		65m ²	
	教材室 2	25m ²		
	配膳室 1	15m ²		

合計 1,100 m²

(3) 新設校舎における必要整備諸室数 ((1) - (2))

室 名	必要室数	1室当たり面積	面 積	備 考
普通教室	3 ~ 5	70㎡	約 210~350㎡	
特別支援教室	3 ~ 4	70㎡	約 210~280㎡	教室の中央をパーテーションで区切り、1室を2室とする運用も可
特別教室 内訳	計 3		約 140㎡	
	相談室 2	35㎡		
	通級指導教室 1	70㎡		
管理関係諸室 内訳	計 10		約 330㎡	想定教職員数： 25名
	放送室 1	35㎡		
	校長室 1	35㎡		
	保健室 1	55㎡		
	職員室 1	100㎡		
	教材室 3	25㎡		
	印刷室 1	10㎡		
	更衣室(職員) 2	10㎡		

合計 約 890~1,100 ㎡

なお、上記必要整備諸室に加え、昇降口、廊下、オープンスペース、トイレ、階段等の共用部面積を適切に見込むこととし、その上限は1,100 ㎡程度とします。